



鴻巣西中通信

学 校 だ よ り

鴻巣市立鴻巣西中学校
鴻巣市大間1161番地
令和5年2月1日

第10号

西中生の3つの学び「学習・学校行事・部活動」

～学校自己評価から～

校 長 服部幸司



生各教室後方に貼られた「桜咲く！」

3年生は受験真っ只中、各学級には下級生から贈られた『桜咲く！』が165名一人一人の心を温めています。

「きっと、先輩達は、私が味わったことのない程の我慢や苦勞をされてきたと思います。どうか、先輩達の努力が報われますように！全力で応援しています！（1-4女子生徒）」、「受験当日は、チョコなどで糖分をとってください。自分の将来のために、絶対に第一志望校に合格してください。（1-2男子生徒）」…、どの花びら（長方形の付箋紙）を読んでも、上級生への憧れや感謝、応援する気持ちが溢れており、義務教育最後の3年間 3年（中学校教育）がどうあるべきかを思い知らされます。

本校では、学校教育目標「心豊かでたくましい西中生」を掲げ、目指す学校像を「明るい教育環境で学力向上を目指す学校」とし、全教職員一丸となって取り組んで参りました。今月号では、自らの教育活動、学校運営について、その達成状況や達成に向けた取組の適切さ等についての自己評価のあらましをお伝えします。

まず、中学校3年間で、多くの生徒が頑張ろうとするのが「学習」「学校行事」「部活動」の3つです。この3つに対して、鴻巣西中教職員として指導し、支援していくわけですが、その指導・支援が適切だったかを自己評価しました。ここでは代表的な評価項目と評価をそれぞれ1つずつ挙げます。（評価は、「4」をよくあてはまるとする4段階評価であり、（ ）は昨年度の評価です。）

学習 …生徒の実態を把握した学習指導が展開されている。 3.5(3.5)

学校行事…生徒は学校行事への取組に意欲的・積極的である。 3.8(3.7)

部活動 …生徒が自主的に参加し、活動できるよう指導が行われている。 3.5(3.3)

次に、ここ数年、どの学校でも大きな問題となっているのが「いじめ・不登校問題」です。その予防・解決のために重要な「道徳教育」「生徒指導」「教育相談」について代表的な評価項目と評価をそれぞれ1つずつ挙げます。

道徳教育…全ての教育活動を通して道徳的実践力の育成が図られている。 3.3(3.3)

生徒指導…生徒の実態を的確に把握し、規律ある態度の指導を確実に実践している。 3.4(3.3)

教育相談…教育相談を通して一人一人の生徒理解と問題の解消が図られている。 3.5(3.6)

最後に、学校教育目標『心豊かでたくましい西中生』についてですが、「思いやりをもち、人に尽くす生徒が着実に育っている」については3.5(3.3)であり、続く制限下での教育活動でしたが、失敗を含めた体験を通して、西中生は少しずつ人格を磨いてきている、と分析しています。

なお、今年度、新設した評価項目が「働き方改革」と「学校いじめ基本方針」です。「『働き方改革基本方針』の趣旨にそって教職員の健康を意識した働き方の推進が図られている。」については3.0、「学校いじめ基本方針に基づいて、いじめに対して組織的に対応がなされている。」については3.8、教職員が元気(心身とも健康)でなければ、元気な生徒は育ちません。学校教育に対する保護者・地域の方々の一層のご理解・ご協力を得ながら「働き方改革」を図っていきます。

自校を見つめ直すために学校自己評価を実施していますが、改めるべき点は改め、今後も保護者・地域の方々から信頼される学校づくりを推進してまいります。